

公表日

2026年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 草加両新田教室

保護者等数(児童数) 21名

回収数 16件(割合76%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・室内でも体を使うプログラム等を行って頂いているので、スペースは十分整っているのではないかと思います ・以前施設を訪問した際、広々と動けるスペースが確保されていると感じました。 外遊びの機会も多く、雨でも工夫して屋根のある公園に連れて行ってくださっています。 ・面談に行った際に、いつも綺麗に整頓されていると思う。 ・児童と放デイの空間が個別にあり、過ごしやすそうに思います。 ・面談やHUGでいつも見せて頂きそう感じております。 ・いつも少ない時間のなかでも公園に連れていってくれたり図書館など家ではあまり行かない場所に連れていってくださり、ありがとうございます。 	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1			<ul style="list-style-type: none"> ・知らないうちに新しい先生がいたり、知らないうちにいなくなったりと、分からないことが多いので、何らかの方法で知らせて頂けるといいなと思います ・もう少しいいのかもしれない 1・送迎もいつも2人で来てくださり、また日頃のHUGの報告も目標に沿ってご報告いただいております、面談時にアドバイスもいただいております。 ・いつも安心して見て頂いております。面談の際にも本当に適切なアドバイスをして頂き心強いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい職員が入職した際には、HUGシステムの『活動記録』にて紹介させて頂いています。また送迎時にご挨拶をさせて頂ける様に、システムを作っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1			<ul style="list-style-type: none"> ・面談等で教室に行くことがあります。が、先生の写真や声の大きさの表示など、子供達に分かりやすい配慮をして頂いていると感じます ・床には必要以外のものがないのでいいと思う。 ・ランドセルをしまう場所など分かりやすく、クールダウンスペースもあるため。 ・本人も安心して通所出来ており、分かりやすくなかったり、不安を感じたら伝えて来ると思います。 ・綺麗に整理整頓されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内にクールダウンが出来るように壁を設置しています。 ・活動の流れがわかるようにスケジュールボードを使用しています。チップの内容を今の子どもたちに合わせて調整していきます。 ・遊びたい玩具を職員が出して使用する流れになっています。子どもたちがより楽しくて支援にも繋がる運用方法を検討しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも掃除が行き渡っていて、大変清潔な環境を保って頂いていると思っています ・遊びたいものがあるようなのでいいと思う。 1・衛生面で気になったことはありません。 ・まめにご清掃頂き本当にありがとうございます。子ども達にも時にはお手伝いをするようにご指導して下さいと、清潔な環境が保たれていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃・消毒はもちろんの事、オゾン殺菌を行い、空気の殺菌や消臭を行っています。 ・施設は古くなっていきますので、定期的なメンテナンスを行いながら、安全な空間作りを心掛けます。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			<ul style="list-style-type: none"> ・利用期間が長いこともあり、子どもの特性を大変理解して頂いて、対応の仕方も上手に行って頂いていると思います ・公開授業にも参加されているところをみるので、施設で見れないところもみれていいと思う。 ・学校とも連携を取ってよく理解してくれていると思います ・面談や日々のやり取りの中で本当によく子どもの特性を理解して下さいと感謝しありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室での様子だけでなく、学校公開に参加させて頂き、学校での様子も支援に活かしています。 公開を行っていない学校に関しては、普段の様子を知る機会が少ない為、先生と連携を取りながら、支援に活かしていきます。

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも写真を添えてお知らせして頂いて、子どもが利用しなかった日の活動も知ることが出来るので大変良いと思います ・体感を鍛えたり、バランスを取る動作等考えていると思う。 ・LINEから見られることを知りませんでした。 ・日々の活動を通して合っていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムはホームページに掲載されていますが、周知できていない部分がある為、利用者の皆様には再度配布させて頂き、事業所の考え方をお伝えします。 	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧に説明して頂いています ・その通りだと思う ・面談で丁寧にヒアリングしてくれていると思います ・まめに面談の際も成長や困り事を共有して頂き、課題も親が思っている事と同じ内容で、本当によく見て下さっている事が伝わります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談前にお聞き取りシートにて、保護者の要望を聞き取り、子どもには教室で頑張りたいことややりたい事を聞き取り、計画に反映させています。その上で面談にて直接声をお聞きして、最終的な擦り合わせを行い、正式な個別支援計画とさせて頂いています。 	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1			<ul style="list-style-type: none"> ・今の子ども状況を理解して頂いているからこそ、課題や支援内容を示して頂いて、大変有り難く思っています ・細かく聞き取りをした上でされていると思う ・質問があれば丁寧に答えてくださいます 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」を全て設定して作成しており、面談時に児童発達支援管理責任者より説明しております。 疑問点や不明点に関しては、お気軽にお尋ね下さい。 	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					<ul style="list-style-type: none"> ・とても思う ・毎回の報告で目標が分かるように記載されています 	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回色々な取り組みをしていただいています。 ・問題はないと思う ・気にして見ておりませんが、色々な活動をしていただいていると思います ・本人から活動内容を聞き、楽しめている様子が伺えます。飽きずにプログラムを取り組んでいる、その中での成長も感じます。 ・基本的には公園遊びの日程になることが多いですが、毎回公園遊びでのプログラムや約束事が違っていたり、公園遊びのあと室内での活動（プログラム）も違っているので固定化されていないと思います。 ・限られた空間のなかでも毎日違うプログラムがあることで子どもも飽きず、全力で体を動かし取り組んでいる様子がアプリの写真から分かるので楽しそうにこちらも安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域またプログラム内容に関しては、毎月曜日をずらしながら、どの曜日に在籍していても必ずプログラムが回るように工夫しています。 ・プログラムで組み込みにくい活動も、レクリエーションの時間を活用して、少人数で取り組む等、工夫しています。 今後も子どもたちが飽きずに楽しめ、成長にも繋がる活動内容を工夫します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2			4	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や少し大きい公園等に行った際に、嬉しそうに話をしてくれます。 ・実際に交流しているところは見たことがないため ・公園での活動はごはん以外の児童さんとの交流というのは目には見えないので分かりませんが、図書館へ行く活動があると思うので、そこで交流は出来ているのかなと思います。 ・地域のイベントやお祭り、児童館での活動を活動記録でお知らせいただいているので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園では遊びにきている一般の子どもと一緒に鬼ごっこや遊具で遊んでいます。 ・今年度から図書館の読み聞かせ会に参加させて頂き、交流する機会を設けるようにしました。 ・週末には近隣のお祭り等にも出掛け、地域の子どもたちとも交流する機会を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	16					<ul style="list-style-type: none"> ・問題はないと思う ・契約時にご説明いただきました ・とても分かりやすくご説明頂き、ごはんスタッフさん方には感謝しかありません。 	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に説明して頂いています ・その都度説明を見れるのはいいと思う。 ・面談時に細かくご確認いただいております ・面談の際は、親でも気づかない成長をたくさん教えてくださるので、よく見て頂いてるんだなと思い、先生方には感謝しています。 	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった機会があれば、ぜひ参加したい ・今の所そういった機会がないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に情報提供の機会を設けております。 ・ペアレントトレーニングやイベントに関しては来年度中に実施できるように、内容を調整中です。今暫くお待ちください。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 状況について共通理解ができていると思いますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや送迎時などにその日の状況を伝えて頂いて、子どもの様子を知ることが出来て大変嬉しく思います。他のデイで嘔吐（少量）してしまった後があったのに、掃除をするだけで、誰かを確認することもなくスルーしてしまった状況を見たことがあり、保護者に連絡出来ない理由があったのかもしれませんが、私は連絡を頂ける環境はとても助かっていますし、感染を防ぐ意味でも連絡して頂けることはとても良いと思っています ・とても丁寧なかかわりをしてくださっています。 ・利用日の送迎時に話をしてくれるので、助かる ・お休み時連絡には体調に寄り添ったお返事をしていただいています ・とても密に情報共有をして頂き本当に信頼出来ております。 ・子どもの少しの変化も感じ取って教えて頂いています。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談の場を設けて頂いています ・丁度いいと思う ・面談時に様々な相談ができています ・面談や日々の送迎間の中でのやり取りで非常に信頼出来ると感じています。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			<ul style="list-style-type: none"> ・子供のことを一緒に育てるような目線で見てくれているように思います ・いつも優しく明るく細かく、本人を始め私達家族にも接して下さりとても心強く、支援して頂けていると感じます。 ・親では注意することに偏ってしまう出来事も、まずは共感だったり認めていただいていた対応をしていただいている様子がうかがえるので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが悩んだり困っている原因を探るように努めています。こぼんはうすの運営理念にあります『全ての答えは児童の中にあります』を常に念頭に置いて、支援に当たっています。 ・子どもたちの心身の成長に合わせて、支援内容も成長できるようアップデートして参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひやってもらいたい ・今の所その機会がないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は児童発達支援で3月にイベントを実施することになりました。そのノウハウを活かしたイベント実施を検討して、来年度には実施できる方向で準備を進めています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも迅速に対応して頂いています ・いつもすぐに対応してくれているので、助かっている ・こちらから相談の申し入れをしたことがないため ・いつも適切に密に分かりやすくご対応頂いていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申し入れに関しては公式LINEを用いて、いつでも受け入れられる体制を整えております。 ・電話やLINEで伝えにくい保護者に関しては、事業所へ直接お越し頂き対面での面談の時間も設けていますので、お気軽にお尋ねください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば言ってもらえている ・LINEで連絡がしやすいと思います 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			1	<ul style="list-style-type: none"> ・HUG内で毎回の写真や月間の活動報告があり、どんなことをしているか把握しやすいです 	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGの活動報告にて、1ヶ月間の様子を配信していますが、翌月10日頃の配信になっていきますので、よりスピーディーに配信できるように、体制を整えます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1	<ul style="list-style-type: none"> ・特に気になったことがないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払って参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練はプログラムに組み込んで頂いていると思います ・避難訓練等ももっていたいで、とてもいいと思う。 ・契約時にご説明があったと思います ・避難訓練も定期的に行なっていると聞きます。本人からも話を聞き、安心していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは準備しておりますが、なかなか周知できていない現状です。LINEでのお知らせや面談時に机上に用意して閲覧できる等、方法を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・子供が話してくれている ・時おり訓練報告をいただいています 	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1		<ul style="list-style-type: none"> ・常に安全を最優先に運営していますが、至らない点がありましたら、お知らせください。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			2	<ul style="list-style-type: none"> ・まだそのような事はないが、連絡をくれると思う。 ・まだ不測の事態が起きたことがないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我、危険があった際には連絡帳に記載した上で、送迎時にお知らせいたします。 ・また細かい状況説明等が必要な場合は、管理職より電話にてご連絡を差し上げています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが次の利用はいつか、楽しみに尋ねてきます。子どもにとってとても楽しく居心地のよい場所なのだと感じます。 ・とても楽しんで通所している ・中学生になるとこぼんを辞めると思っているようで、辞めたくない、時々は行きたいと言っているので、安心して通えていると感じます。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな年代の子ども交流があるようなので、いいと思う。 ・嫌がることはなく、居場所として自然に受け入れていると思います ・楽しかった事をよく話してくれたり、作った制作を大切にしているので、楽しめているのだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育を進めていく上で、楽しくない場面や難しい課題に取り組む機会も出てきます。進級や進学を見据えて、必要な力を見極めながら活動を組んでいます。 ・また難しさや困った事を、自分の口で伝えられる事も大切にしています。将来を見据えた支援を継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供記録も丁寧で、面談時もよくお話を聞いてくださいます ・大満足です。いつも本当にありがとうございます。 ・いつも本当にありがとうございます。 	

公表日

2026 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 草加両新田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 決して広くはない室内ですが、当校では『社会経験の蓄積』をコンセプトにしており、積極的に公共の場に出ることで、スペースの問題は感じずにメリハリをつけられるメリットもあります。また室内においては使用しないものや、気になるものは片づけることでスペースと安全性を確保しております。 人数や活動の内容に合わせて、1階の指導室も使用しながら、スペースを確保しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 見えるところに玩具をあまり設置していない為、スタッフの引き出しの多さが鍵になってきます。事前にプログラムやレクリエーションなどは計画して進行していますが、自由時間で遊ぶものを明示しながら選択してもらう事で、スムーズに対応できるようにしていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 死角を無くすよう職員が配置につき、気づいた時はアイコンタクトや声掛け等で修正しています。 スタッフも集団を作れるように、役割分担をしながら現場に入っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎車を運転できるスタッフを増やし、現場が手薄にならないように改善していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 室内空間は段差もなくバリアフリーです。カーベットの色分けをする事で、ゾーン分けを行っています。 1日の流れはTEACCHやPECSのメソッドを活かしたスケジュールチップで、終わった活動のチップを「できたBOX」に入れていくことを開所当初から継続しています。この環境により、児童達が行動の見通しをもって頂けることを意図しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練室に掲示してある声の大きさを表すシートについて、再作成の準備を進めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃、消毒、整理整頓のみならず、業務時間外のオゾン発生器による大気消臭・殺菌を行っています。 食事・おやつ前後に児童、職員の手洗い、消毒はもちろんのこと、机上の消毒を行っています。また、昼食後のクールダウンの時間には消灯することで「静」の活動を行う、落ち着いた時間を過ごせるように工夫しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場の鏡や窓ガラス、ドアの取手など、消毒が行き届いていない日がある為、時間を有効活用しながら、清掃・消毒を徹底します。 外掃除に取り組みしていない日があります。日々取り組めるように、ルーティン化していきます。また感染症が流行する季節は、玩具の消毒も徹底します。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> 集団療育の場なので、個室で隔離をせずにパーティション等を使用してゾーン(個別の場所)をつくって対応しています。基本的に目の届く範囲にいる児童が戻ってくるタイミングをつくったり、待つことで集団に戻るキッカケづくりにもなっています。 場合によっては児童発達支援の児童が不在の際に、1階を使用することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月以降に新1年生等の児童が増えて、課題が見えたタイミングで再考致します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や昼礼、終礼で情報を共有したり、振り返りを行っています。 日々のプログラム計画に沿った活動をこなすことで、PDCAサイクルに参画できる環境づくりを行っています。 またご利用されている児童名、出勤している職員名、プログラム名や5領域などを事務所ホワイトボードで纏めている為、全体像を掴みやすくする工夫をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員毎に勤務時間が異なる為、15分単位でミーティングを区切ることを意識していきたい。効率化が課題だと考えています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からいただいた情報をもとに、支援計画や専門的支援の計画を立てています。 送迎時の会話のみならず、家族支援や面談、学校への訪問などで、保護者のご意向を伺う機会を増やしています。また相談員さんがいらっしゃる方に関しては、相談員とも意見交換を行いながら業務改善を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回頂いたご意見に対する業務改善を100%行えていたとは言えない為、スピード感をもって実行していく必要があります。

改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	・支援の後、振り返りを行っています。現場職員の提案を、管理職と擦り合わせながら方針を決めています。	・カンファレンス等の改まった場になると職員がなかなか意見を出せない事が多いです。気軽に発言できるような雰囲気作りに取り組めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	・リトミック外部講師に毎月感想やご意見をいただき、支援の見直しを行っています。 1 ・相談支援専門員様に積極的に訪問いただいたり、学校の先生方にも来室いただき、実際の支援の様子に対してご意見を頂戴し業務改善につなげています。	・外部評価に関しては口頭での周知のみとなっている為、社内掲示板へ掲示する事で、当日出勤していない職員へも周知を図ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	・本部主催の研修、草加市「障害児通所支援事業所連絡協議会」主導の研修、埼玉県主催の研修や外部機関のオンライン研修など、多くの研修に参加しています。	・研修内容の共有や、研修で得た知見の実践に弱さがある為、まずは研修参加者が全体へ研修内容を周知する機会を設けます。 ・義務化されたことも多い為、研修計画を明確に立てる必要が出てきました。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	・療育の5領域に沿ってプログラムを立案しています。連絡帳に写真や内容を記載して、保護者の方にお伝えしています。また室内にも見学に来られた方が見られるように掲示してあります。	・支援プログラム作成から1年が経過した為、保護者にも再認識して頂けるように工夫します。また来年度に内容の変更がないの再考いたします。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	・公開授業の見学に参加したり、保護者との面談は現場に入っている保育士なども含めた面談を行うことで、客観性のある多くの視点を取り入れて分析できています。	・サービスの質を定量的に計測するうえで、支援計画の達成度を集計し、職員に共有することでモチベーションアップに繋がる可能性を検討しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	・毎月カンファレンスを実施し、職員も児童さんの成長や課題について意見を出しています。また支援の方法について話し合う機会となっています。	・現場職員が支援方針を十分に理解して、支援内容を調整していく必要があります。また児童のできる力を信じて、できることを増やしていく視点を職員全員が持てるようにしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	・更新された支援計画や面談記録は職員が目を通せるように掲示しています。作成された支援計画に沿って、現場職員が話し合いを行い、支援内容を決定しています。	・勤務日数の少ない職員に関しては、計画内容の把握が出来ていない場面も見られます。必ず新しい計画を確認してから、現場に入るように徹底します。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	・こぼんはうさくらの本部で提供されているツールを利用していますが、学校への訪問や保護者、相談員などへのヒアリング等のインフォーマルなアセスメントも確認しております。また、いまはインターネット上の情報も貴重な情報源となっております。	・専門的支援計画を立てる際にアセスメントシートを使いこなしていない時があります。アセスメントをとってから計画を立てる流れを確立していきます。 ・今後はAIを活用したツールの導入も、視野に入れながら検討しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	・児童発達支援管理責任者がリードを取り、カンファレンスや日々の話し合いのなかで共有されております。具体的には日々のプログラムの中で、ねらいや具体的な支援内容が意図された内容に配慮されております。	・朝礼時に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいを明示し、終礼で計画に対して総評を評価することで、より計画の内容に即した支援に繋がると検討しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	・基本的なコンセプトや活動プログラムに設定される5領域などの方向性は決まっており、最終的な内容はプログラム担当が決定しています。詳細に関しては当日の天候やご利用者の人数、組み合わせ等を配慮した形で、全員の同意を得てチームとして決定できています。	・アイデアがなかなか出ない時がある為、継続して取り組む活動と、並行して新しい内容も考えながら、チーム一丸となって活動を作っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	・5領域は曜日毎にずらすことで重複を減らし、どの日にも動の活動と静の活動が入るようにしています。 ・活動内容はSNSやテレビなどの情報をアレンジしたり、近隣の地域イベントに参加するなどしながら工夫しています。 ・児童館や商業施設などに出掛ける等、社会性が育まれるよう意識しています。	・プログラムを実施する事が目的になっていないか、狙いを確認しながら取り組んでいく必要性を感じています。 ・イベントや季節の行事がなかなか実施できていません。話し合いから事前準備を徹底して、SNSなどから情報を得て共有を図ります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	・集団活動が主の事業所ですが、プログラム前にレクリエーションの時間を利用して、個別支援にも取り組んでいます。	・課題に対してスタッフが共通の狙いを持って取り組んでいく必要があります。事前に話し合い、狙いを共有した上で取り組みます。

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に役割分担を割り振り、情報共有を行う事で、役割を意識して支援に取り組めることが増えました。 ・また朝礼に参加できない職員に対しては、個別に報告を行なうことでチームで連携が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割に集中してしまうと視野が狭くなってしまふ場面が見られます。持ち場を離れる時や、公園では特に職員同士での声掛けを徹底します。 ・イベントなどで事前準備が多い場合等は、少し早めに出動して頂くなど、調整のご協力が引き続き必要となります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・パートタイムの方でも、ヒヤリハットと振り返りの一言を頂くようにしています。1回15分程度と時間を意識しています。 ・次に同じ様な事が起こった際に、どの様に対応するか話し合い、共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りに時間がかかり過ぎないよう、ポイントをまとめて話し合う必要があります。 ・HUGの職員共有欄や経過票に記載する決まりにしていますが、あまり活用できていません。情報共有の為に、記入を習慣化していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・電子連絡帳が定着してきて、しっかりと記録を取ることができるようになってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員共有欄の確認を徹底し、共有された情報を漏れなく周知する必要があります。特にパートの方はなかなか会えない児童もいる為、全体で情報を共有していきます。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングはもちろんのことですが、全職員が一度に集まる機会はなかなか無いので、隙間時間にヒアリングを行ったり、保護者や相談員、関係機関の方とも情報交換することで情報ソースを増やしています。 ・成長が感じられる児童に対しては、モニタリング時期を早める等、対応に変化を付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の見直しは適宜行っていますが、課題達成に向けた支援の内容も向上させる為に、職員同士で話し合いを行い、支援方法を探ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日プログラムとは別に、レクリエーションとして2~3人の小集団での活動も設定しています。1日の中でも静と動の活動のバランスを取るように意識しています。 ・放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」は療育の5領域とリンクしていると認識しており、5領域は日替わりのプログラムで偏りないようにスケジュールされています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ主導での活動を行って来ましたが、夏休みをきっかけに児童自身がルールを考えながら遊びや活動を工夫する場面を増やしています。 ・リーダーを中心に活動しやすい内容や方法を工夫しながら、主体性や協調性を育み、成功体験に繋げていきます。
関係機関	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定が難しい児童には、スタッフが分かりやすい選択肢を提示しています。 ・「いつなら取り組みそうか」「何なら取り組みそうか」「どうしたら（誰となら）取り組みそうか」等を自分で決めてもらう事で、安心感や達成感に繋がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「頑張りたいこと」をヒアリングして個別支援計画に役立てております。 ・また普段の支援においても、可能な範囲で子どもたちが自分たちで話し合って決定できるように支援をしております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には管理者や児童発達支援管理責任者が出席しています。時間の都合がつけば現場職員も同席するように調整しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の議事録等の情報を、全職員が取れていると言いつれない状況にあります。事務所にある情報には必ず目を通す事を徹底し、情報共有を図ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の通所している学校を訪問して、連携を図っています。また公開授業を行っている学校には、職員が普段の様子も観察して支援に活かしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は病院のイベントに参加することができました。今後の連携に繋がるよう準備中です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEアカウントを活用して、時間割や学校での行事に関する情報を共有して頂いております。 ・また送迎時に先生からとも情報交換を行いながら、支援に活かしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任によりませんが、下校時間に10分前後のプレがあるところがあり、定時送り出しの働きかけを依頼する事も検討しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員のみならず支援計画の共有などもおこなっており、各施設への訪問なども行い情報共有や相互理解を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は児童発達支援センターへの訪問等もできていないので、年度初めにスケジュールを組み計画的に進めます。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童が在籍しておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なタイミングで事業所から卒業できるように、成長を見ながら支援して参ります。 	

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・草加市では児童発達支援事業所・放課後等デイサービス・相談支援事業所などによる連絡協議会が存在しているの間接的な連携が主ではありますが、地域の支援センターと直接的なコンタクトも取っています。	・以前と比較して、訪問や連携の頻度が減ってしまった為、スケジュールを計画して行動に移していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会があるか。	8	1	・地域のお祭りや、図書館の「読み聞かせ会」に参加しています。 公園では、児童が自発的に地域のお子様にも声をかけながら一緒に遊ぶ場面が増えていきます。	・おおまかな年間スケジュールを組み、事前に準備を行った上で参加していきたいと検討しています。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9		・草加市では児童発達支援事業所・放課後等デイサービス・相談支援事業所などによる連絡協議会が存在しているので、間接的な連携が取れています。	・引き続き前向きに参加しながら、連携を図ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳の記載、LINEでの連絡、面談の際など保護者の方と状況を伝え合い、別室でモニターを確認しながら、ご家族さまが普段見られない様子も含めて見て頂いています。 ・保護者の方から面談実施前に提出して頂いている「お聞き取りシート」も、共通認識への近道として活用しております。	・保護者の方からお話を受けた際は、報告・連絡・相談の徹底を図ります。保護者への報告が必要な場面では、必ず管理職へ判断を仰ぐ專線を徹底します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	・面談の際に、ご家族にごばんの様子やご家庭で取り組めることなどをお伝えしています。	・オンライン等での実施方法を探っていきます。 ・内部職員での実施の他に、外部講師での対応も含めて検討しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・支援プログラムは見学や体験時にご説明させて頂き、運営規程や利用者負担等に関してはご契約時に丁寧にご説明させて頂いております。また支援プログラムに関しては、教室内に掲示している点からも児童にもよく見えるように工夫しております。	・見学者も含めて簡潔にご理解頂ける「概要説明資料」等を用意するか検討中です。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・計画作成前にお聞き取りシートを活用し、保護者の意向を聞き取っています。言葉で表現できる児童には、教室で頑張りたいことのお聞き取りも行っています。	・保護者や児童の意思はしっかりと聞き取れていますので、引き続き意向を計画に反映できるよう作成いたします。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・面談実施前に計画を確認して頂いてから、面談で具体的な説明を行っています。最終的な同意を頂いてから、ご署名を頂いております。	・今後もより分かりやすく、成長に繋がるような計画を作成して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・ご家族様からの悩み等に対して、臨機応変に面談や電話、LINEでフォローアップさせて頂いております。 また面談時を中心に「家族支援」や「子育てサポート」の制度を積極的にご活用いただきながら、実際の支援の様子を観ていただいたり、助言を行っております。	・声を挙げにくいご家庭のフォローが疎かにならないよう、適宜確認の連絡を取れるような体制を構築します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	・保護者の会を希望するかどうか、保護者の方にお聞き取りシートで確認を取っています。 ・面談に同席されたごきょうだいに対しても、スタッフが関わりを持ちながら成長の様子を拝見しております。ご本人同様、必要に応じてお困りごとを伺ったり、助言を行っております。	・保護者会は実施できていません。お聞き取りシートにてニーズを伺いながら、実施時期や内容を精査しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・基本的には苦情が入った際には必ず管理職に報告が入り、管理職が対応する流れができています。	・引き続き迅速な対応を心掛けて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・月に一度、活動の様子を写真と文章で公開しています。連絡帳にも写真を添付して、わかりやすくしています。 またLINE公式アカウントからリンクに入れる形式にした事で、簡単に見る事が出来るようになっていきます。	・SNSの更新が滞ってしまった為、担当制を採用しながら円滑に運用できるように体制を整えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・職場以外で児童さんの話をしない、業務上知り得たことを職場以外で話さないことを徹底しております。 ・紙媒体に関してはシュレッダーで破棄しており、電子データに関してはセキュリティの高いクラウドのドライブ保管をすることで、ローカルにデータを残さない工夫をしています。	・携帯電話がポケットから落ちてしまうことがある為、社用携帯電話の紛失がないように十分注意する必要があります。

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真を使用して、目で見てわかる形で情報を伝えるように工夫しています。 ・LINEや電話、対面での対応など、臨機応変に状況を見て配慮した方法で対応させて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードの内容があまり変化していない為、今の児童に合わせた内容に検討していきます。 ・チップと行動や活動内容を一致できるような働きかけをしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で地域の方と会った際は挨拶をしたり、交流を図るようにしています。また地域のお祭りやイベントには、積極的に参加させて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待するようなイベントは実施出来ていません。まずは職員内で話し合い、どのような事が実施できるか等、計画を作成する事から開始します。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度の防災訓練をプログラムに組み込み、実施しています。緊急時のマニュアルはファイルバインダーを事務所に用意してあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルをスタッフで読み合わせたり、感染症や嘔吐の際の対応をスタッフで確認しておく必要があります。防災リュックや非常食、水などの中身を確認し調整します。 ・マニュアルの開示は面談時などに、明示的に机上に出しておくなどの工夫も検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、防災訓練を行っています。また救命の動画を観て学ぶ機会を設けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常事態を想定して、日頃から児童の人数確認、点呼、職員間での連携が取れるように準備しておきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルに入ってる同意書や経過表に記載、電子化されたシステムに入力しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートを全職員が確認して、内容を把握します。虫刺されの薬などの使用について、使用許可を頂きます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が確認できるように、電子化されたシステムに入力されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応が必要な場合は、お弁当が他の児童さんと混ざらないように注意したり、食材に手を伸ばすことがないように見守ります。座席位置を調整したり、食事の後に室内を清掃したり、手洗いをしてもらうなどの対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度実施している防災訓練の中に、不審者対応などの訓練も取り入れており、環境面でもオートロックを取り入れています。また外部には防犯カメラも取り入れたり、センサーライトで防犯意識を高めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を把握できていない職員が多い為、全職員が確認します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳が電子化されており、写真も掲載が可能なので、取り組みに関しては記述のみならず写真でも周知させて頂いております。 ・契約時に緊急避難時の対応方法等も説明しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きご家族との連携も深めて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時にヒヤリハットを確認し、記載する様に取り決めています。 ・支援前に前日までのヒヤリハットを確認してから支援に入ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の職員がヒヤリと感じる場面があっても、当該職員からヒヤリが上がらないこともあります。職員が危険だと感じる事がなくならないように、安全に対する意識を持続けます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に社内でも虐待防止研修を行っている他、社外の研修も受講可能な環境を整えており、実際に参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置して、対策を行っていますが、開催頻度を上げて常に緊張感をもって現場に入るようにしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修やカンファレンスにおいて組織的に決定し、事前に保護者へ了解を得て支援計画に記載されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に身体拘束を行った際には、記録や保護者への報告は行っています。一方代替案の話し合いがなかなか進まない為、積極的に実施します。 	